

愛川町教育委員会

平成22年11月26日

愛川町教育委員会 11月定例会会議録

- 1 会議日程 平成22年11月26日(金)
午後2時00分から午後2時20分

- 2 会議場所 愛川町役場2階201会議室

- 3 議事日程 日程第1 会期の決定について
日程第2 前回会議録の承認について
日程第3 教育長報告事項について
(1) 教育長報告事項
(2) その他

- 4 出席委員 教育委員長 岡本 弘之
委員長職務代理者 平田 明美
教育委員 足立原 威
教育委員 柴利 隆一
教育長 熊坂 直美

- 5 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
教育次長 沼田 卓
教育総務課長 河内 健二
生涯学習課長 大八木 尚一
スポーツ・文化振興課長 近藤 史朗
教育開発センター指導主事 佐野 昌美
教育総務課副主幹 佐藤 貴

◎開会

○(岡本委員長) 皆さん、どうもこんにちは。

現在の出席委員ですけれども、5人であります。したがって、定数に達しておりますので、11月愛川町教育委員会定例会は成立いたしました。よって、これより開会いたします。

それでは、本日の会議を開きたいと思います。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでありますから、ご承知お祈りいたします。

これより日程に入ります。

◎日程第1

- （岡本委員長） 日程第1、会期の決定についてを議題とします。

本定例会の会期であります。本日1日と定めたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） 異議なしの声がありました。ご異議ないものと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第2

- （岡本委員長） 次に、日程第2、前回会議録の承認についてを議題とします。

会議録につきましては、既に配付のとおりでございます。

これより質疑に入りたいと思います。

ご意見、ご質疑等がありましたらお願いいたします。

（「異議ありません」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） 特にございませんか。

では、ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

日程第2、前回会議録の承認についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないようですので、本案をご異議ないものと認めます。

よって、日程第2、前回会議録の承認については原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

◎日程第3

- （岡本委員長） 次に、日程第3、教育長報告事項についてを議題といたします。

初めに教育長報告事項の説明をお願いいたします。

教育長、お願いいたします。

——教育長より詳細について説明——

- （岡本委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入りたいと思います。教育長報告事項についてお聞きしたいところ、質問等ございましたら、お願いいたします。

私のほうからご質問したいんですが、11月22日ですね。何か土地開発公社連絡協議会（伊勢原）とあるんですけども、これはちょっと教育と余り何か縁が遠いような演題ですが、どういった内容でしょうか。

- （熊坂教育長） 実は、愛川町で公共事業を行いますときに土地を先行取得することがございます。そのために愛川町土地開発公社というのがあるんですが、今年度はいろんな事情により、私のほうがこれの理事長ということになっております。この県北地区の幾つかの自治体の中で連絡協議会というのが設定をされておまして、たまたま愛川町が当番でこの協議会の会長になるという年に当たってございました。私のほうが会長ということでこの会議に出たわけですが、研究会ということで土地の地価の問題の専門家のお話を聞いてまいりました。公示価格という国のほうが毎年でしょうか、年に1度示す公の土地の値段ですね、それのお話がありまして、その変動について、バブル以前はこうで、バブルごろはこうなったというのが講義内容で、ふだん聞けない大変興味深いお話でしたが、やはりバブルのころは地価の上がる率が何十倍あるいは場所によっては100倍近くに上がったところもあるとか、そういうお話もありました。今は落ちついて、かなり下がった状況にあるというようなお話もお聞きいたしました。土地開発公社で土地を先行取得する場合には、この公示価格というのが一番もとになってくる考え方ですので、そういったお話をお聞きできてよかったかなと思っております。

- （岡本委員長） どうもありがとうございます。ほかにどなたか。

どうぞ、平田委員。

- （平田委員） 10月29日に寒川の教育委員の方たちがおいでになりまして、同席させていただいたので非常に状況はよくわかるんですけども、またあのような刺激を与えてくださるような交流にはこれからも臨んでいきたいなと私は個人として思うんですけども、教育長

のほうはいかがですか。

○（熊坂教育長） 寒川からも大変交流がよかったというお話をいただいておりますので、これからも機会を見つけて、寒川とは限らず、どこかと設定をしてもいいのかなということは思っております。またご意見をいただきながら、来年度あたり設定をしてもいいかと思います。

○（岡本委員長） ほかに何かございませんか。
特によろしいですか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ほかにないようです。ほかに質疑がありませんので、これで質疑を終結したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第3、（1）教育長報告事項につきましては教育長報告のとおりご承認願います。

次に、（2）その他についてに入ります。各委員より報告事項とか、あるいはご意見等ございましたら、ご発言ください。

よろしいですか、私から。

今ニュース等で最近中学生、それから小学生の高学年の自殺問題が大分報道されています。その主たる原因が大体いじめ、確かなことはわかりませんが、報道によると大概いじめということで話題をみているところですね。ああいう報道を見ると、どこまでが事実でどこまでが知られていないかわかりませんが、いろいろ子供たちがつつっている作文とか、そういったものの中にそういった兆候が出ているというようなことが、どの事件も記事でまとめておられるケースが多いんですね。

そこでちょっと質問ですけれども、愛川町の9校ですね、小学校6、中学校3つという中であって、いじめ問題等で話題になっては困るわけですが、そういった兆候とかそういったことが学校現場のほうから相談があるとか、あるいはそれについて愛川町の教育委員会としては、学校現場にそういったことについての調査を指示するとか、そういったこと等についても何かございましたら、よろしく願います。

はい、どうぞ。

○（熊坂教育長） 県のほうもこのいじめ問題、それから不登校の問題、暴力の問題等多いと

ということで大変苦慮をしております、9月の段階だったのでしょうか、調査がありまして、細かく状況を把握して報告をしておるところですが、起こらないにこしたことがないというわけで、実はおとといそこにあります町の小中校長会議でもこのことについて私のほうから各学校へもお話をし、1つには早期発見をして、早期指導をして大変にならないうちに解決するのが一番大事ですので、ニュースに出ていた中学校の校長さんではありませんけれども、起こることは子供の社会ですので、起こることは起こるだろうと。ただ、早く発見して早く解決することが大事だということでお話をし、特に文科省がことし60年ぶりぐらいでしょうか、指導のための生徒指導提要という冊子を出しました。これにははじめ、不登校、それから校内暴力等生徒指導にかかわる問題をどう指導していったらいいか、考え方はどうするかというのをまとめた本が出ているんですね。その中にはじめについての指導のことも出ておりますので、これを各学校でぜひ12月には研修会をやって先生方に共通理解を図ってほしい、それが1つと、もう一つは生活の状況の調査をなされた。この中ではじめの兆候があったものについては早くつかんで指導をしてくださいと。この2点についてお話をし、対処をしていただいております。

なかなかこの辺の対処も先生方も若くなりつつありますので、各学校でノウハウを持ってどんどん指導できる人が少なくなっていますので、ぜひ共通理解を図ってほしいということでお話をいたしました。これが崩れますと、いろんなところであらぬことで問題が大きくなっちゃいますので、ぜひそうしていきたいと、そんなお話をきのう校長会でも確認をさせていただきました。

以上でございます。

○（岡本委員長） ありがとうございます。

ほかにどなたか報告事項はございませんか。

○（榮利委員） 今の問題は毎年行っている小中高連絡会がありますね。あの中でも少し話を出していただいて、それで現場の先生と、あとPTAとか関係団体の人にも共通認識を図ったほうがいいなというふうに私は思うんですが。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（熊坂教育長） 先ほどお話ししました本の内容について抜粋したものをそういう会議でお示しをし、いろんな方法等もお知らせをしていったほうがいいのかと思います。また機会を見つけて、そのようなことを提案していきたいと思います。

○（岡本委員長） よろしいですか。

今、教育長さんが言われたとおり、確かに今のああいっただことの問題について何が問題になっているかという、やはり起こった事件もそうですけれども、現場の対応ですね。連絡とかそういったことが後手に回っているということで、教育界への大分非難があるように思えるんですね。

教育現場の先生方に昔、よく我々のころはハウレンソウと言われたんです。報告、連絡を早くということ言われたんですけれども、その辺の徹底ですね。そういったものが図られていけば、いろいろ複雑で大変な問題ですけれども、ニュースの報道になるような形になるのが随分減るんじゃないのかなという思いがしますけれども、ひとつそういった面で現場の先生方への指導の徹底ですね、お願いしたいと思います。

○（岡本委員長） ほかによろしいですか。

では、委員の方からほかにないようですので、事務局から何かございますか。特によろしいですか。

では、特にご意見ないようですので、以上で11月の定例会を閉会したいと思います、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、11月定例会を閉会いたします。大変ご苦労さまでございました。